

“学びのつみかさね”
—家庭学習のてびき—



【御家庭の方へ】

「“学びのつみかさね” 家庭学習のてびき」は、小学校1年生から中学校3年生までの9年間、どのように家庭学習を行えばよいかを一冊にまとめたものです。

小学校1年生から中学校3年生までの9年間、手に取ることができる所に保管し、家庭学習のポイントを振り返りながら取り組めるようお願いいたします。

はじめに

小学生・中学生の皆さんへ

学校での学習は、みなさんが将来社会人として自立するための基礎となるとても大切なものです。そのため、学校では、基礎基本をしっかりと身に付けられるよう、いろいろと工夫した授業を行っています。

しかし、学校で学習したことを定着させるためには、家庭での学習もとても大切です。家庭での学習が十分にできるようになると、学校での勉強がもっとわかるようになっていたり、楽しくなったりします。

また、家庭での学習を毎日続けることで、勉強への集中力や学習習慣が身につく、困難なことに出会ってもくじけずに積極的にチャレンジしようとする力も大きくなります。

家庭での学習は、宿題はもちろんのことですが、その日に学習したことの復習や、これから学習するところの予習を、毎日、欠かさず行うことが大切です。

そして、「もっとここを調べてみよう」、「ここをもっと繰り返してみよう」など、自分自身の課題に応じた学習を、積極的に取り組むことが大切です。

保護者の皆様へ

家庭学習は、学校での学習の定着・発展にとっても大切です。

全国学力・学習状況調査の結果からは、家庭学習を行っている子どもほど、平均正答率が高い状況が報告されています。毎日のコツコツとした積み重ねが、何年か後、大きな学力の差となって表れてしまいます。

家庭学習の定着には、各御家庭の協力や支援が欠かせません。特に、低学年であるほど保護者のかかわりが、その後の家庭学習の定着に大きく影響するといっても過言ではありません。

子どもたちへの保護者の方からの励ましやお褒めの言葉は、子どもたちの学ぶ意欲を大きく引き出し、伸ばします。

天栄中学校区では、校区の小学校と中学校が義務教育9年間を見通し、子どもの学ぶ意欲を高め、生きる力を培うことを願い、「天栄中学校区“学びのつみかさね”一家庭学習のてびきー」を作成しました。この資料が、家庭学習の定着と学力の向上の一助となりますことを願い、保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

基礎的・基本的な学習とは …

学校で、教科書に基づいて学習する内容が、基礎的・基本的な学習といえます。

特に、小学校で学習する次のような学習は、その後の学年にもつながらないようです。そのため、学習した学年で確実に身につけておかないと、その後の学年で困ることになります。

例えば、前の学年で学習した漢字の読み書きを確実に覚えておかないと、新しい学年の教科書が読めなくなることもあります。

また、算数でも前の学年で学習した計算方法などを覚えておかないと、その後の学年での計算や解き方がわからなくなることもあり、結果として算数・数学が分からなくなり、学習意欲を低下させることにもなります。

小学校で学んだ基礎的・基本的な学習は、中学校の学習へとつながっていくので、学校での学習を家庭で振り返り、しっかりと覚えていくことがとても大切です。

小学校で大切なこと

- ◎ 算数の教科書に出てくる程度の算数の問題を解くこと
- ◎ 教科書に出ている漢字を読んだり書いたりすること
- ◎ 教科書に出てくる程度の文章を“すらすら”読むこと



家庭学習とは …

家庭学習は、授業の内容をより深く理解することに欠かすことができない学習です。家庭学習で取り組む内容は、大きく次の二つの内容があります。

- ◎ 宿題 …… 必ず取り組むべき課題です。
基礎学力を身につけることを目標としています。
- ◎ 自主学習 …… 自分で課題を見つけ、学校での学習をより深く身に付けます。
課題を追究する力、思考力、表現力などを身に付けることを目標とします。
中学校3年生になれば、卒業後の進路選択に向けて、とても大切な取組です。

<家庭学習のポイント>

- ① 毎日、必ず行う。
- ② 毎日、続ける。
- ③ 学習する時間を決める。
- ④ 学習に集中できる環境を整える。(テレビを消す、机の上を片付けるなど)
- ⑤ 学習する内容や課題を定める。
- ⑥ 携帯電話・スマートフォンなどは、身近に置かないようにする。

「中学生として、ぜひ取り組みたいこと」

- ◇ 予習：自分でできることに取り組みます。
 語句や単語の意味を調べたり、本文をノートに写したりするとよいでしょう。

- ◇ 復習：暗記が必要な科目では、復習が有効です。
 今日習ったことは、その日の内に復習しておきましょう。
 また、授業中にとったノートは、そのままにしておかないで、自分なりにまとめ直してみると、内容が整理できて、理解が深まります。

家庭学習で身につく力とは …

家庭学習では、次のような力が身につきます。

- 繰り返し学習することで、基礎学力が身につきます。
 - 基礎学力が身につくことで、「考える力」や「表現する力」が身につきます。
 - 「考える力」や「表現する力」が身につくことで、新たな発見がうまれます。
-
- 自分で学習時間を作り出そうとする態度で、生活リズムが整います。
 - 生活リズムが整うことで、食欲がでて、体のエネルギーが蓄えられます。
 - 体のエネルギーが蓄えられることで、活動する意欲や心の落ち着きがでます。
 - 活動する意欲や心の落ち着きにより、集中力が高まります。
 - 集中力が高まることで、課題を発見し、課題を解決する力が高まります。

家庭学習を始める前に …

家庭学習の定着には、毎日の規則正しい生活習慣を身に付けることが大切です。

「早寝早起き朝ごはん」と言われますが、このことが、とても大切です。
学習効果や学力向上の土台は、「基本的な生活習慣」といっても間違いありません。

- 「朝ごはん」は、一日のエネルギー源となります。「朝ごはん」を食べることで「脳が活性化」し、学習や運動への意欲、集中力を高めます。
- 「早起き」には、「早く寝る」ことが必要です。特に、小学生では、一日の睡眠時間は、8時間から9時間ほど必要と言われています。
- 朝、目覚めたら、朝日を浴びることが大切です。朝日は、体内時計を動き出し、一日の生活への体と心の準備を整えます。
- テレビやテレビゲームなどの時間は、一日2時間以内が望ましいとされています。

一日の生活リズムを整え、家庭での学習の時間を確保するようにしましょう。

◇ 読書に進んで取り組みましょう。

「読書」は、漢字の読み書きを覚え、言語活動を育む基盤となります。
各家庭でも幼い頃から、本に親しむ習慣や環境づくりをお願いします。
時には、親子で読書の時間を過ごしたり、子どもへの読み聞かせを行ったりしてみてください。本を通じた親子の会話が広がることで、子どもが読書の楽しさを実感するきっかけづくりにもなります。

家庭学習を行うことで …

学習したことの復習や、学習することの予習は、授業の理解度や授業に対する真剣味を増すことにつながります。

家庭学習は、授業を充実させるためには欠かせないものです。そして、継続することで、確実に学力は向上します。

毎日1時間の家庭学習を1週間続ければ学習時間が7時間となります。土日にあと1時間ずつ行えば9時間になります。これを1ヶ月（5週間）続けると45時間になり、1年間続けると540時間になります。

この差が、結果として「学力」に大きな差を生むことは明らかです。

家庭学習での“学びの積みかさね” …

中学校3年生

進路に向けて目標を明確にして取り組む。

- ◇ 様々な問題に、数多く触れる。
- ◇ 進路に向けて、これまでの学習を復習する。

中学校1・2年生

計画的・継続的な学びを進める。

- ◇ 予習・復習に重点をおき、定着させる。
- ◇ プリントやワークを有効活用する。

小学校5・6年生

自発的な学習を定着させる。

- ◇ 時間を決めて学習する習慣を定着させる。
- ◇ 自ら調べ、読み、まとめる力をつける。

小学校3・4年生

「進んで学習する」習慣を身に付ける。

- ◇ 練習問題を繰り返し解く習慣をつける。
- ◇ 机の上を整理整頓する習慣をつける。

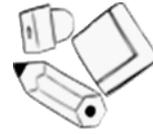
小学校1・2年生

「親子で一緒に」学習する時間をつくる。

- ◇ 毎日学習する習慣をつける。
- ◇ テレビを消して学習する習慣をつける。

中学校

<家庭学習の方法>



1 「まずは机に向かう」

「やる気」は机に向かい、教科書を開いて勉強することでわいてくるものです。まずは、机に向かう習慣をつけます。

2 「教科書・ノートは必ず持ち帰る」

机に向かっても勉強道具がなければ「やる気」もなくなります。勉強道具は、毎日必ず持ち帰ります。

3 「学習内容は事前に決める」

机に向かってから何を勉強するのかを考えるのではなく、事前に取り組む内容がわかっていることが大事です。

4 「帰ったらまず復習をする」

帰ってから夕飯までの時間をいかに過ごすか。この時間をダラダラと無駄に過ごすよりも1日の生活を振り返り、授業内容を思い出しながら30分でも勉強します。この取り組みが勉強に取り組む意識を変え、効率を高めます。

5 「テレビやゲーム等は2時間以内と決める」

テレビを見るのが当たり前の生活は学習の妨げであり、勉強をする意識を低下させます。テレビ等のメディアの時間は、あらかじめ決めます。

6 「勉強中心の生活パターンを習慣化する」

食事、風呂、学習の順に生活パターンを考え、空いた時間をテレビ等の休憩の時間とします。習慣化は脳を活性化し、学習効率を高めます。

7 「土曜日・日曜日を踏ん張る」

平日はどうしても学習時間の確保が難しくなります。だからこそ土日の過ごし方はとても大切です。部活等の時間を考えた上で、まとまった学習の時間を確保します。夜は、翌日の予習を中心に学習を進め、早めに休みます。

8 「予習を最大限生かす」

予習をすることで、授業を聞くポイントがわかります。予習で疑問に感じたことは授業の中で確認し、必要に応じて先生に直接聞きます。

9 「新聞に目を通す」

新聞は知識の宝庫です。世の中の出来事や様々な考え方など、多くのことを活字を通して私たちに発信しています。

10 「寝る前の読書で心の栄養を取る」

15分程度の時間でもいいので、読書を読みます。読書をすることで、ほどよくリラックスして、ぐっすりと眠ることができます。本を心の栄養とし、自分自身の心を耕します。

<家庭学習のポイント>

中学校 1・2年生

めあて：計画的・継続的な学びを進める

ポイント 1

予習・復習の習慣を身につける！

小学校の時と比べると、中学校の授業内容や授業進度をかなり負担に感じる事が多くなると思います。あらかじめ自分で調べたり考えたりして授業に臨む（予習）ことや、その日のうちに教科書・ノート・プリント・ワークなどを使って学習のポイントを整理する（復習）ことによって、授業の理解度や定着が大きく違ってきます。

ポイント 2

学校・先生のプリントを有効活用する！

授業で先生から配付されるプリントには、学習のポイントが整理されています。バラバラにならないように、きちんと整理して活用することが大事です。毎日の予習や復習にはもちろんのこと、テスト勉強の際にも見直したりして有効に活用しましょう。

ポイント 3

問題を解いた後がもっとも大事です！

問題を解いた後が最も大事です。わからない時は、わかるところまで戻って解くことも大切ですし、間違ったところは必ず見直しをして問題に印を付けておきましょう。印を付けた問題を先生や友達に相談してもいいですし、テスト前は印を付けた問題を重点的に確認しましょう。

中学校 3 年生

めあて：進路に向けて目標を明確にして取り組む

ポイント 1

進路の目標を具体的に決めて計画を立てる！

進路の目標がはっきりしないと具体的な計画は立てられません。目標は早く決めて、目標に向けて何が不足しているのか、何が必要なのか、現在の自分の力をよく考え、努力すべき点を明確にすることが大切です。そのためにも、家族でしっかりと話し合うことも必要でしょう。

ポイント 2

生活リズムを整え、上手な時間の使い方を工夫する！

睡眠不足では疲れが取れず、集中力も続きません。また、朝食を抜くとエネルギー不足となり、脳の活動が悪くなります。自分の力を最大限に伸ばすために生活リズムを整え、家庭学習の時間やテレビなどメディアの使用時間を決めるなど、上手な時間の使い方を工夫しましょう。

ポイント 3

3年生の学習内容と1・2年生の復習を両立させる！

部活動引退前、部活動引退後、長期休業中など、時期によって時間の使い方を工夫する。(例えば、引退前は平日は3年の予習復習、休日は1・2年生の復習をする。長期休業中は1・2年生の復習を中心にする。など)自分に合った方法を工夫し、中学3年間のまとめの学習になるようにしましょう。

<定期テスト勉強の方法>

1 「2週間前までにはテストモードに切り替える」

スタートの時期が早ければ早いほど効果は上がります。生活をテストモードに変える時、気持ちもテストモードに切り替えます。

2 「無理のない、それでいて努力を要する計画を立てる」

気持ちにゆとりを持ち、見通しを立てて取り組むには計画が必要です。試験の範囲を確認し、学習内容量やそのために必要な学習時間を割り出します。その上で優先順位をつけ、オリジナルな計画を立てます。

3 「不安を持ったままで試験に臨まない」

わからない部分をそのままにして試験に臨んではいけません。不安を抱えたままでは実力は発揮できません。先生や友達の力を借りて確実に理解し、試験に臨みます。

4 「情報収集をしっかりと行う」

授業中、先生からのテストに関する説明を聞き漏らすことなく、友達とも情報交換を進めながらテスト問題をイメージします。テストにおける情報収集は、学習意欲の喚起にもつながります。

5 「教科書・ノートを最大限に活用する」

基本的に授業で学んだことをどれだけ理解できているか、また学んだことを活用できるかを調べるのがテストです。教科書・ノートで授業内容をしっかりと確認します。

6 「問題を解いて理解度を自己診断する」

学習内容の理解度を測るためには、教科書の問題、授業で使っている問題集やプリントなどの活用が効果的です。問題を繰り返し解いて、学習の定着を図ります。

7 「テスト対策ノートの作成」

テスト対策ノートを作成するという努力が心のゆとりを生み、テストへの集中力を高めます。

8 「テスト終了後、再テストを2回行う」

テストが返されたら、もう一度問題に取り組み、課題克服に励みます。こうすることにより、自分自身の課題がはっきりします。その時に理解すべきことは後回しにしないことが基本です。この取り組みは、次のステップにつながります。

＜各教科の家庭学習＞

教科	先生からのメッセージ	家庭学習で 取り組んでほしい内容	テスト前に 取り組んでほしい内容
国語	<p>国語の授業では、一つの教材を掘り下げて学習します。それにより視野を広げたり、深い思考を身につけたりすることを目指しています。その力をさらに伸ばせるよう、幅広い読書をしたり、自分の思いを自分のことばで表現したりすることに積極的に取り組んでほしいと思います。</p> <p>それは、目前の定期テストにすぐには現れなくとも、一年・二年後の国語力につながり、ひいては人生を鮮やかに豊かにする助力となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト前には、一点一画正しく書けるよう漢字練習をする。 ・小説や説明文は、漢字の読みを確かめ、音読練習をする。 ・文法や漢文は、ノートやワークを使い復習する。 ・詩や古典は、音読のリズムに気をつけ、暗唱に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークやノートなどの提出物を締め切りまでに仕上げる。テスト範囲の要点を見直すための提出物は、必ず提出すること。できなかった問題は、解説や解答を手がかりに再度やっておくこと。 ・教科書、ノート、ワーク、プリント等を使い、授業の重要ポイントを復習しておく。 ・文章の要点や自分の思い、考えをまとめ、文章にする。 ・重要な語句の意味や使い方を確認する。 ・漢字を覚えるまで書く。
社会	<p>社会科を学習するには、特にきっかけや準備物が必要になるわけではありません。今、みなさんが生きている世の中に関することすべてが学習の題材になるのです。ニュースや新聞などに触れる機会を毎日持って、社会に対する興味・関心を広げてください。そこから一つの物事について調べれば、「広がり」や「深さ」、そして他の物事との「つながり」に気づくことができるでしょう。この世の中は、時間と空間を越えて人と人とがダイナミックに「つながって」、「社会」をつくっています。その大きさを肌で感じられた時のワクワクドキドキ感をみなさんも味わってください。さあ、魅力あふれる社会科の世界へようこそ！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習ったことを、調べ学習をしてさらに深める。 ・家族と授業で紹介した内容について話をする。 ・週ごとに授業で習ったことをワークで復習する。 ・週ごとに授業で習った範囲の教科書の本文を読む。 <p style="text-align: center;">＜プラスα＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理・・・地図帳を使って世界の国や都道府県の特徴をまとめる。 ・歴史・・・年表づくり。教科書に載っていないようなことも盛り込んで、自分のオリジナル年表を作ろう。 ・公民・・・新聞スクラップ。テーマを決めて集め、コメントも書けるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文をしっかりと読むことを重視して、ワークの問題に取り組む。 ・教科書の本文は、一部分だけ読むのではなく、テスト範囲全体を音読する。それを毎日取り組む。 ・ワークで間違えた問題は、別のノートに問題文ごと書き写す。テスト前には、間違えた問題をまとめたノートを繰り返し取り組む。

数学	<p>中学校での数学は、小学校での算数をもとにして、負の数の考え方や文字を使った式で表すことにより解いていきます。また、図やグラフ、表を使って学ぶこともあります。少し難しくなりますが、数学を利用して考える便利さやスマートさを学んでほしいと思います。</p> <p>よく「わからない」という壁にぶつかります。でも、乗り越えた時はとても気持ちが良いです。</p> <p>あきらめずに、努力を続けていけば、やがて結果につながる教科書です。</p>	<p>予習よりも復習が大切です。</p> <p>①授業での「わかった」を、「できる」に変えるために、授業でやった問題をもう一度解く。</p> <p>②授業で学んだ内容を、ノートを見てふりかえり、ワーク等の問題でたくさん練習する。</p> <p>ワークのやり方：習ったその日に必ずやる。</p> <p>わかりにくい所、また、間違いそうな所にはチェックをしておく。(つまり、今の自分がわかる所とわからない所をはっきりさせておくために行います。そして、できれば、わからない所はそのままにしておかず、教えてもらって解決しておくことをおすすめします。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ノートを見て、テスト範囲の内容を具体的につかむ。(まとめる。整理する。) ・まとめたものを使って、教科書の例題を中心に確認する。 ・ワークでチェックしてある箇所をやり直す。 <p>いつも基礎的な内容をふりかえって、確実に定着させ、いつでも使えるようにしておきましょう。</p>
理科	<p>私たちの生活は、自然界の中で成り立っています。その自然界を理解するためには、理科の学習をすることが大切です。</p> <p>また、日常生活で使っている物は、すべて理科に関係する物ばかりです。より便利な生活を送るために、どんどん新しい物が開発されています。</p> <p>このように身の回りの物や自然現象について理解したり、科学的に考えることは、とても有意義なことです。</p>	<p>①まず、宿題をちゃんとする。</p> <p>②次に復習をする。</p> <p>その日の授業を中心に、ノートにまとめたり、ワークなどをやる。</p> <p>③重要語句を覚え、説明できるように理解を深める。</p> <p>④最後に予習をする。</p> <p>教科書に目を通し、次の日に学習する内容を前もって知る。</p> <p>⑤寝る前に、明日の準備をする。</p>	<p>①ワークやプリントなどの提出物をきちんと提出する。</p> <p>②ノートを中心に学習内容の復習をする。</p> <p>③ワークやプリントなどで、特に間違えたところを中心に、再度解き直す。</p> <p>④わからないところは、先生にたずねるなどして解決しておく。</p>

<p style="text-align: center;">音楽</p>	<p>「歌う」ということは音楽の基本です。</p> <p>私たちは皆、「歌声」という自分だけの楽器を持っています。</p> <p>「歌声」が作り出す世界は、それぞれに違います。それだからこそ、豊かな感動を響かせることができます。</p> <p>「歌声」は誰もが演奏を楽しめ、自分の思いを届けることのできる素敵な楽器です。</p> <p>音楽の時間には、みんなの「歌声」で感動を作り出すことを楽しみましょう。</p> <p>“今日も健康な体と元気な心で音楽室にきてね”</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックの名曲を楽しむ。 ・日本の伝統音楽に親しむ。 ・世界各地の歌に触れる。 ・時代とともに変化するポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わう。 	<p>テスト範囲のプリントに書かれている、教科書やテキストのページ、授業中にやったところをしっかりと復習する。</p>
<p style="text-align: center;">美術</p>	<p>美術は、絵画、デザイン、造形など、たくさんの分野があります。全体を通して大切なことは、自分が感じていることや思いを、どう表現するかです。形を正確にとったり、きれいに色を塗ることも大切ですが、「自分の思いを表現する」ということをいつも意識して制作してください。</p> <p>それが良い作品につながります。</p>	<p>基本的には家庭学習は必要ありません。しかし、何かを描く時、そのものの特徴や構造などを深く理解していないと描けません。普段からいろいろなものに興味を持ち、注意深く見るようにしましょう。</p> <p>またアイデアを出しやすくするために、普段から、きれいだな、おもしろいな、と感じた絵や写真などをファイルにまとめておくと良いです。雑誌やチラシの切り抜きなどでかまいません。</p>	<p>教科書・資料集・プリントを、もう一度よく見ておきましょう。特に作者名、作品名をしっかりと覚えてください。記述式が多いので、言葉を覚えるだけではなく、書けるようにしておいてください。</p> <p>実技については、事前に内容を知らせるので、テスト当日までにアイデアやデザインをよく考え、まとめておきましょう。</p>

<p style="text-align: center;">体育</p>	<p>中学時代は、体格や体力・運動能力が急速に発達するとともに、考えたり判断したりする能力も高まってくる時期です。いろいろなスポーツに親しんだり、自分の体に興味を持ったりして、生涯にわたってスポーツを楽しむ力や態度、健康を保持増進できる力を身につけましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ観戦やテレビ観戦を通して、日頃からスポーツに関心を持ちましょう。 ・自分のからだに興味を持ち、健康に関するテレビ番組を見たり、本を読んだりしましょう。 ・健康を保持増進するために、日頃から運動をしましょう。 	<p>定期テスト前に教科書や図解中学体育、毎日の確認、その他ファイルにとじた資料をもとに、今まで学んだことの復習をしましょう。</p>
<p style="text-align: center;">技術</p>	<p>技術は、生活のいろいろなものに関わっています。ただ、何となくものを使うのではなく、その仕組みや成り立ちを考えると、技術の大切さがわかってくると思います。</p>	<p>自分の手で簡単なものを作ったりする機会をもつ。普段から、コンピュータに親しんだり、工具など必要に応じて使用する機会をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト範囲内の教科書・プリントは、必ず確認しておく。 ・道具や機器の各部分の名称をしっかりと覚える。
<p style="text-align: center;">家庭</p>	<p>便利な社会になり、物やサービスで生活を代行するシステムもありますが、衣食住や家族とのかかわりを理解し生活の技能を身につけると、より楽しく幸せな生活を送ることができます。家庭科はひとりの人として自立して生活していくための基本となる大切な教科です。また、ひとりひとりが自分の生活をよりよくしようとする事は、地球環境や社会全体の豊かさにつながっていきます。ぜひ新聞やTVのニュースなどで社会の動きをつかみ、自分の生活とつなげてみましょう。</p>	<p>生活するには知っているだけでなく手や体を動かして体験することが必要です。特別なことはしなくてよいので、ふだんから次の3つのことに取り組んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学んだことや実習を、家で再現してみる。 ・ふだんから家でいろいろな手伝いをする。 ・レシピ集やお弁当課題を、目標をもってひとつずつ丁寧にしあげる。 	<p>毎回の授業で先生が話した大切なポイントや、プリントにあるキーワードの意味を深く理解しておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、プリントを見直して、学んできた概要を復習する。 ・実技はスムーズにできるまで、繰り返し練習する。

英語

英語は日々の勉強の積み重ねです。毎日の予習・復習をしっかり頑張りましょう。また、読み書きだけではなく、話す力、聞く力も求められます。教科書を読む時や単語を書く練習をする時は、声に出して練習しましょう。

日頃からラジオやテレビの英語を聞いて、リスニングに備えることも大切です。

<予習>・単語の意味を調べる。

・本文をノートに写しておく。

<復習>・基本文や単語・熟語は、何回も発音したり書いたりして定着させる。

・教科書は速読できるように何度も読み、なるべく暗記する。

・学習した文型を応用して、自分で英文を作ってみる。

・ワークやノートの提出物は、期限を守れるように見通しを持って進める。

<プラスα>

・分からないことは分からないままにしないで、先生や友達ちに聞く。

・長文問題にチャレンジして、読解力をつける。

・ラジオやテレビの英語の番組を進んで聞く。

・ワークの問題は、何度も解いて理解しておく。

・授業中に配られたプリントを見直しておく。

・ノートを見直しておく。

・新しく習った文や単語を正しく書けるようにしておく。